

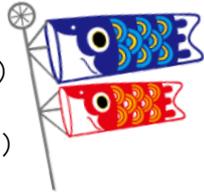
みんなで育てよう、緑豊かな私たちの森！子ども達に贈る自然いっぱい森

# 能ヶ谷西緑地だより

2025年5月1日号 231号 能ヶ谷西緑地・樹の会

## 【5月の予定】

- ◆5月10日（土）（雨天翌日）  
・南斜面草刈り
- ◆5月24日（土）（雨天翌日）  
・花広場草刈り
- \* 9:00 現地集合（9:00～11:30）
- ◆5月3日（土）（10:00～12:00）  
・ヤママユ連・手作りカフェー  
平和台集会所  
問合せ：伊藤（735-8623）  
どなたでも参加自由です。  
作業には汚れても良い服装でおいでください。



※※※※※※ 緑地だより ※※※※※※

4月12日（土） 快晴 参加者11名

暖かい日の間に冬のような寒い日があったので、桜は散り始めながら最後の楽しみを見せてくれています。昨年も4月の入学式に咲いていたので、今年もその点上手くいきました。この時期からは、草刈りの作業が欠かせません。

今日は花広場の草刈りや整備。固くなっている土を耕し、腐葉土を混ぜこみ、後日花苗を植えます。ここは月2回の作業日以外はほとんど自然にお任せですから、日当りは最高ですが、水分量がかたよります。晴天続きだと土はカラカラです。それでも平気で群生する植物もあれば、自然消滅のものもあります。そんな中で今日も1つ素敵な花を見つけました。山芍薬の花です。50cmほどの背丈の木に、直径8cm位の淡い黄緑色で柔らかな花びら。繊細な美しさでした。

緑地の隣にある鶴川2小の課外授業は、昨年までいくつかの活動に分かれていましたが、今年は緑地一本になるそうです。約100人の4年生が緑地について考える事になりました。子供たちは緑地をどんな風感じてくれるでしょうか。まちカフェについても参加決定し、展示物の具体策を考えていく事になりました。（宮崎）

## 【緑地に咲く】ムベ（郁子）



アケビ科ムベ属の常緑つる性木本植物。別名トキワアケビ、ウベなどと呼ばれています。地方によってはアケビとも呼ばれていますが、アケビとは異なり常緑で、果実は熟しても割れません。関東地方以西の温暖な地域に分布しています。

古代より、食べると不老長寿になると伝えられています。（長谷部）

4月26日（土） 曇り 参加者9名

木々の新緑がきれいな季節になり、今日は曇天で暑くもなく寒くもなく、作業は快適にできた。金ラン、銀ラン、ジューニヒトエ、ツボスミレなどの花々が随所に咲いており、作業の前後で花を探しながら歩いた。小さな緑地であるが、手入れもしないのに多種の草木があり、草木をよく知るIさんやOさんの解説を聞きながら花を見るのは勉強になります。

今日は桜広場を、草刈り機と鎌を使いみんなで草刈りを行った。今年初めて草刈り機を使用、これから草刈り作業が本格化する。広場の中央にある大きな梅の木には早くも実がたくさんついており、一か月後には沢山収穫できそう！

作業終了後、今年秋のまちカフェへの出展に向けてテーマ、タイトル、展示内容についてみんなで案を持ちより話し合う。出された案を藤井がまとめ次回作業終了後に継続検討する予定。（藤井）



ヤマシャクヤク

【緑地を楽しむ本】

## 『僕には鳥の言葉がわかる』

鈴木俊貴著 小学館



緑地ではツツピー、ツツピーというシジュウカラの声が響いているのでしょうか？この本はシジュウカラと18年以上も付き合ってきた方が書いたものです。「ダーウィンが来た」で何度か放映されたので、ご存じの方もいるかもしれません。

シジュウカラが鳴く声は200パターン以上あり、2語文で話したりしているそうです。2語文とは、2歳ころ話す、「ワンワン来た」のような文です。シジュウカラの場合、「ピーツピ、ヂヂヂ」と鳴くと、「警戒して・集まれ」という意味で、これを聞いたシジュウカラがあちこちから集まり、キョロキョロと頭を左右に振って警戒すべきものを探そうです。

私もコゲラがつがいで巣作りをしているのを観察したことがあります。1羽が帰ってきて、もう1羽と巣作りを交代するときに、「チッ」と鳴き、もう1羽も「チッ」と応えて、飛んで行きました。まるで「頼んだよ」、「オーケー」という感じでした。

著者の鈴木さんはご自分の研究の積み重ねから、動物言語学という学問領域を打ち立てました。彼は動物は言語をもち、我々がそれを理解できれば、毎日の世界がもっと豊かで素晴らしいものになるはずだと言っています。

私たちも身近な動物と対話してみたいですね。

(齋藤好子)

【やままゆ連・手作りカフェー】

## お散歩

4月5日（土） 10:00~12:00

4月の第一土曜の頃は例年染井吉野の開花の話しで日本中もちきりです。集会場での手仕事ではなく、近年4月はお散歩です。今年2025年は開花宣言後に数日間の雨や寒い日が続きましたが、この日は風もなく絶好のお散歩日和となり、7名で出かけました。

場所は昨年と同じ麻生区岡上営農団地、桃源郷のようなところ、とのこと。

岡上神社近く、染井吉野の古木がゆるい感じに並ぶ簡易舗装の道から、お散歩を始めました。右手の遠くの斜面には白や紫の花をつけた木々、景色中央の畑には菜の花、白い花が咲く果樹なども見えます。

畑で作業をしている人は数人で長閑な雰囲気、本当に桃源郷のようです。区画された畑には所々に水道の口があり営農団地なるほど

です。今年は冬の間3月下旬まで雨が少なくキャベツなど高騰、大船渡や今治などで大きな山火事があり、水の有難みを思っていました。

道の両側にはスミレ、タンポポ、土筆、オオイヌノフグリ等々、芽吹いて間もない足元の花々のことが話題です。桜の隣に葉がまだ出ていない大木、私は櫨に馴染んでいて木肌の色で櫨と言ったところ、Sさんは木肌をじっくり、Kさんは落葉を拾い櫨の落葉より固いことを確認、正しくは榎。草木の色々も楽しんだお花見でした。

(齋藤光代)



【緑地の樹】

## ガマズミ

プロフィール：ガマズミ科ガマズミ属の落葉低木

中央広場の真ん中あたりに、それほど大きくないけれど、ガマズミの木があります。もう蕾がついていますから、これから白い小さい花をいっぱいつけることでしょう。そして、秋には赤い実が目立ちます。この赤い実はあまり甘くなく、酸っぱいのです。ガマズミの「ズミ」は、「酸っぱい実」から来ているようです。もっとも、鳥たちは平気で食べています。人間は、焼酎につけて果実酒にして、赤く澄んだ、きれいなお酒を楽しんだりしています。

(小川)



ガマズミの花と実

# 緑地はお花畑



エビネ 斜面に咲いているので、撮影が大変です



ジュウニヒトエ 何枚も着物を重ね着しているのかな？



キンラン 山の中に点々と咲いています



ギンラン この株は元気いっぱい



ツボスマイレ 小さいのでよく探してね

